

《担当者名》○松尾淳司 山崎智拡

【概要】

感染症を引き起こす病原体は多岐にわたる。そのため感染症を根本から理解するためには、病原体に応じて、その特徴や性質を理解する必要がある。そこで本講義では、学部および修士課程で学んだ感染症を引き起こす生物の特徴について再度復習し、これら病原体がどのようにして感染症を引き起こすかについて、病原体の性状と感染メカニズムを並行して学ぶ。また、これら感染現象を解き明かすために必要な実験手技やその解釈についても学ぶ。さらに、自身に関連する文献を検索し、それをもとにプレゼンテーションすることで、その詳細を学ぶ。

【学修目標】

- 1) 臨床検査学の教育者・研究者として、深い学識および高度な研究能力と教育的指導力を身につけるために、感染現象のしくみを理解する。
- 2) 感染症を引き起こす病原体の種類を挙げ、その概要を説明できる。
- 3) 感染現象のメカニズムの概要を説明できる。
- 4) 感染現象の解析法の種類を挙げ、その概要を説明できる。
- 5) 感染現象に関連した文献を検索し、発表できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	感染症を引き起こす生物	・講義概要 ・病原体の種類 ・病原体の特徴	松尾淳司
2) 3	感染現象のメカニズム1	・病原体としての寄生虫(原虫・蠕虫) ・原虫感染症の感染現象 ・蠕虫感染症の感染現象	松尾淳司
4) 5	感染現象のメカニズム2	・病原体としての細菌 ・細菌感染症の感染現象	山崎智拡
6) 7	感染現象のメカニズム3	・病原体としての真菌 ・真菌感染症の感染現象	松尾淳司
8) 9	感染現象のメカニズム4	・病原体としてのウイルス ・ウイルス感染症の感染現象	山崎智拡
10) 11	感染現象の解析法1	・遺伝子発現解析 ・遺伝子機能解析	山崎智拡
12) 13	感染現象の解析法2	・タンパク質機能解析 ・タンパク質相互作用解析	松尾淳司
14	文献検索	・文献検索 ・文献読解	松尾淳司
15	プレゼンテーション	・口頭発表	松尾淳司

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験 100%

【評価基準】

感染症の解析方法を理解し、その詳細について説明できる者に対して単位を付与し、学修目標に記載する能力の達成度に応じて、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）の評価を与える。

【教科書】

資料（論文）を配布する

【備考】

ライブ配信による授業では、Google Formを利用して授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。
オンデマンド型授業では、Google Formを利用して学習課題の提示と質疑応答の機会を確保する。

【学修の準備】

次回の授業内容について、調べておくこと（30分）
復習は、配付資料を活用し学習を深めること（30分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

- （DP1）臨床検査学研究を实践するための倫理観を身につけていること。
- （DP2）臨床検査学の教育者・研究者として、深い学識を身につけていること。
- （DP3）臨床検査学の高度な研究能力と教育的指導力を身につけていること。
- （DP4）国内外の保健・医療や社会の動向を把握し、修得した能力を社会へと還元できる能力を身につけていること。